

1. 単元名 「安心院の未来をよくする方法を考えよう」

2. 単元目標

A. 捉える力

- 地域の人口減少や少子化などの課題への着眼点として、身近である小中学校の児童・生徒数の減少に目を向け、広い視野で向き合うことで、主体的に安心院の解決すべき課題を見つける。また、課題意識を持って自分なりの工夫をしながら、解決のために積極的に取り組もうとする。【A-1、A-4】
- 仲間と資料を整理・分析する活動や、意見を交流する活動を通して、協働する大切さに気づき、問題の解決に向けての取り組みを成し遂げる喜びを感じることができる。【A-2】
- 振り返りを通して、安心院の新たな価値を見出したり、課題を見つけたりするとともに、自分自身の生活と関連させて考え行動しようとする。【A-3】

B. 解決する力

- 安心院町の現状に目を向け、経験や既習事項と関連させたり、多面的に見つめたりして考え、課題を設定することができる。【B-1】
- 課題追及のために、目的に応じた方法で効果的・効率的に情報を集めることができる。【B-2】
- 思考ツールを活用しながら、情報を比較・分類・関連づける・多面的に見るなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。【B-3】
- 安心院の未来をよくするためのアイデアを考え、それを他者に論理的に説明するために整理し、表現することができる。【B-4】

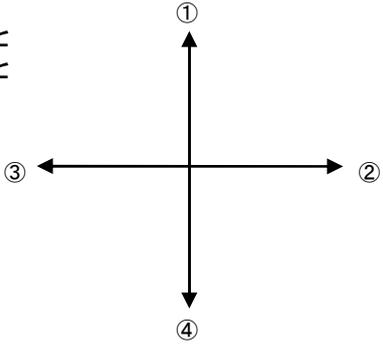
C. 英語をツールとしたコミュニケーション力

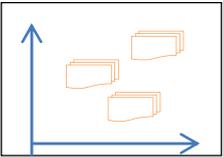
- 安心院の未来をよくするための活動案を、既習の英語を使って表現することができる。【C-1】

3. 単元設定の立場

4. 指導計画 (21時間)

単元	時	学習活動と予想される生徒の反応	評価規準 (つげい効)	教科との関連
課題設定・情報収集・整理分析	3	<p>今後の安心院の中学校1年生の生徒数はどうなっていくだろうか? 予想してみよう</p> <p>○過去10年の安心院町の中学校1年生の生徒数の推移を提示し、予測する。(理由も考える)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減少していく。理由…出身小学校の児童数が減っている ・あまり変わらない <p>○予測を検証する方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各出身小学校の児童数を調べ、各学年の合計人数を出す ・役場の人に聞いてみる <p>○何年間のデータが必要かを考え、決める。</p> <p>今後の安心院町の中学校1年生の生徒数を調べよう</p> <p>○安心院、津房、深見、佐田の4小学校の各学年の現在の人数を調べ(小学校への聞き取りなど)、表にまとめる。また、その表をもとにグラフ化して推移を見やすくする。</p> <p>○感じたこと・気づいたことをまとめる。</p>	<p>○生徒数の減少に目を向け、今後の生徒数を予想することで、主体的に安心院の解決すべき課題を見つける。【A-1、A-4】</p> <p>○課題追求のために、小学校に聞き取りを行うことで、効果的・効率的に情報を集めることができる。【B-2】</p>	<p>数学 (資料の活用)</p>

課題設定・整理分析	2	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">安心院の未来をよくするために、自分たちにできることを考えよう</p> <p>○地域の方の思いや願いをもとに、自分たちができる「安心院の未来をよくする方法」を考える。(個人)</p> <p>○ウェビングマップを使って、より多くのアイデアを出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お祭りなどの地域の行事に参加する ・ 地域の方とのふれあいの機会をつくる ・ 安心院の魅力をPRする <p>○アイデアを班に持ち寄り、アイデアを付箋と座標軸(4つの視点)を使って整理させる。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>①すぐに取り組めること ②自分たちでできること ③助けが必要なもの ④時間がかかること</p> <p>○班でこれから実践可能なアイデアを1つに絞る。</p>	<p>○仲間と資料を整理する活動や、意見を交流する活動を通して、協働する大切さに気づくことができる。 【A-2】</p> <p>○座標軸で、互いのアイデアを整理分析することができる。 【B-3】</p>	<p>国語 (話題や方向を捉えて話し合おう)</p> <p>数学 (変化と対応)</p>
整理分析・まとめ表現	3	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">安心院の未来をよくするために、互いのアイデアを出し合い、意見交流をしよう</p> <p>○活動案を、根拠を明確にして論理的に説明できるように、ピラミッドチャートを使いながら、活動案シートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 理由や過程、根拠 ・ メリット・デメリット ・ 実践するための具体的な手順や方法 ・ 座標軸 ・ 新たに調べた内容 等 <p>○班で意見交換しながら発表の準備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 声の大きさやスピード、適切な言葉の選択、 ・ 効果的な資料の提示の仕方とタイミング 等 <p>○全体で活動案の交流を行う。 発表→質疑応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動が効果的か ・ 実践可能か、不可能か 	<p>○理由や過程、根拠などを明確にして、工夫しながら論理的に活動案をつくることができる。 【B-4】</p> <p>○相手意識を持ち、効果的な方法を選択して、表現しようとする。 【B-4】</p>	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">整理分析・まとめ表現</p>	<p>4 本 時 1 / 4</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">安心院の未来をよくするために考えた活動を、学級で実践していこう</p> <p>○各班で、8つの活動案を「活動が効果的か」「実践可能か」という視点で座標軸に位置づけ、比較・検討する。</p> <p>○根拠や選んだ過程を明確にさせながら、班で最も実践に適した活動を、1つに絞る。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>○最も実践に適した活動を決定する。 ○決定した活動を実践する。</p> <p>○単元を振り返って、自分とのつながりの視点で、気づいたことや学んだことをまとめる。また、安心院の未来をよくするために、これから実践可能なことを考える。</p> <p>○ルーブリックに基づいて活動の評価をする。(記述)</p>	<p>○最も適した活動案を、思考ツールを活用しながら、比較・分類・多面的に見ることで、選ぶことができる。【B-3】</p> <p>○振り返りを通して、安心院の新たな価値を見出したり、課題を見つけたりするとともに、自分自身の生活とつなごうとする。【A-3】</p>	<p>数学 (変化と対応)</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">英語ツール・まとめ表現</p>	<p>2</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">安心院の未来をよくするために考えた活動を、英語で表現していこう</p> <p>○自分たちが考えた活動案をより多くの人に、PRするための工夫を考える。</p> <p>○安心院の未来をよくするために、自分たちが考えた活動案を既習の英語を使って表現する。</p>	<p>○安心院の未来をよくするための活動案を、既習の英語を使って表現することができる。【C-1】</p>	<p>英語 (自分のことを話そう)</p>

5. 本時案 (全体：16 / 21 時間)

(1) 活動名 実践に適した活動は何かを、根拠を持って考えよう。

(2) 主眼 他の班の活動案を「効果的か」「実践可能か」という視点で意見交換し、比較・検討する活動を通して、最も実践に適した活動は何かを根拠を持って考え、選択することができる。

学習活動	時	指導上の留意点	評価 (方法)
1. これまでの活動を振り返り、本時のめあてを知る。	5	<p>○これまでの学習を振り返らせる。</p> <p>○本時のめあてを確認させる。</p> <p>最も適した活動を、根拠を持って選択しよう。</p> <p>○ルーブリック評価の基準を示す。</p>	
<p>ルーブリック S 班の話し合いで、どの活動が実践に適しているかを、比較・検討をし、明確な根拠を持って選ぶことができた。</p> <p>A 班の話し合いで、どの活動が実践に適しているかを、根拠を持って選ぶことができた。</p> <p>B 班の話し合いで、どの活動が実践に適しているかを、選ぶことができた。</p> <p>C 班の話し合いで、どの活動が実践に適しているかを、選ぶことができなかった。</p>			
2. 班で最も実践に適した活動が何かを考える。	15	<p>○前時に考えた意見をもとに、活動案を「活動が効果的か」「実践可能か」という視点で、座標軸に位置づけ、比較・検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ効果的なのか、そうでないのか ・どのような効果があるのか ・どうして実現可能なのか、可能でないのか <p>○根拠や選んだ過程を明確にさせながら、班で実践にふさわしい活動を、1つに絞らせる。</p>	<p>○最も適した活動を、思考ツールを活用しながら、比較・分類・多面的に見ることで、選ぶことができる。</p> <p>(観察・振り返りシート)</p>
3. 班でまとめた考えを発表する。	15	<p>○班でまとめた考えを発表順に交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座標軸を黒板に貼り、可視化する。 ・「活動が効果的」「実践可能」と考える活動案について、根拠や理由を挙げながら発表する。 ・聞き手は、聞き取りシートに、各班の発表を聞き取ったこと (選んだ活動例、根拠など) や、気づいたことなどを記録させる。 	
4. 最も実践に適した活動がどのようなものを、まとめる。	8	<p>○各班の発表を聞いて、気づいたことを出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠を聞いて納得した。 ・自分たちでは考えられなかった新たな発見があった。 ・どの班の意見も、安心院の人々の願いを元に考えている。 <p>○活動を実践することの意義を再確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を実践することで地域みんなが喜ぶ。 ・地域の人とのつながりができる。 ・地域が活性化する。 	
5. 学習の振り返りをする。	7	<p>○本時の振り返りを行い、ルーブリックの自己評価と感想を書かせる。(振り返りシート)</p> <p>○次時の予告をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次時は本時の活動をもとに、実践する活動を決定することを知らせる。 	